

令和2年度

学 校 評 価
自 己 評 価

令和2年4月1日から令和3年3月31日

学校法人 日本産業専門学校

令和2年度 日本産業専門学校 学校評価

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切 2、不適切…1

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価
①理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	3
②学校における職業教育の特色は何か	3
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生に周知されているか	3
⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2

①理念・目的・育成人材像は定められているか

- ・理念・目的・育成人材像は定められている。
- ・平成28年に創立70周年を迎え、学校全体で80周年に向けたビジョンを考える必要がある。

②学校における職業教育の特色は何か

- ・本校では、法律・政治・経済・経営とビジネス系に幅広く学習するが、資格取得を目指すことで検定試験実施は重要である。

③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

- ・将来構想を検討する上で高等課程 商業ビジネス学科（現在募集停止中）、専門課程 ビジネス教養学科に対応する業界ニーズが不足している。また将来の課程・学科を見直すための検討・企画業務の運用が必要である。

④理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生に周知されているか

- ・学生は、専門知識を学び資格取得を目標としていることを理解している。

⑤各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

- ・専門課程においては、留学生の日本語能力不足という問題点克服の為、各教員が工夫し授業を行っている。
- ・日本の法律、政治、経済を十分に理解させ、学生に自信をつけさせる事も必要である。
- ・各学科に対応する業界ニーズの把握を行い、今後のカリキュラムに反映させる事が必要である。

(2) 学校運営

評価項目	評価
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
③運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
④人事、給与に関する制度は整備されているか	3
⑤教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	2
⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

①目的等に沿った運営方針が策定されているか

- ・年初に策定する年間行事計画及び指導計画に基づき、学校教育運営を行っている。

②事業計画に沿った運営方針が策定されているか

- ・年初に策定する年間行事計画及び指導計画に基づき、学校教育運営を行っている。

③運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

- ・公式の組織表の内容と実際の意思決定機能がほぼ一致している。
- ・各役職における責任と権限について議論する必要がある。

④人事、給与に関する制度は整備されているか

- ・給与に関する制度は給与規定に準ずる。
- ・教職員の能力開発（研修参加、自己啓発等）にもつなげられる仕組みが必要である。

⑤教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか

- ・経費支出は、理事長、校長、教頭、事業理事、担当の押印をもって決定している。

⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか

- ・法令、条例、通達に加え寄付行為、学則、就業規則等を遵守することを重視し学校運営を行っている。

⑦教育活動に関する情報公開が適切になされているか

- ・ホームページを作成活用し情報公開しているが地域社会向け情報公開をより一層実施する必要がある。

⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか

- ・紙ベースの情報が多いがファイリング、書類の電子化を図っている。

(3) 教育活動

評価項目	評価
①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
②教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確にされているか	3
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3
⑤関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	2
⑥関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	2
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	2
⑧実施する教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2
⑨成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
⑩資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
⑪人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2
⑬関連分野における先端的知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

・教育理念に基づいて、指導体制が出来ており職業教育が実施されている。今後は、外部環境の変化に対応した職業実践的な内容に見直す必要がある。

②教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間確保は明確にされているか

・目標とする検定試験が設定されており、教育到達レベルは明確である。また、定められた授業時数を実施している。今後は業界ニーズとのマッチングで教育目標を検討していく必要がある。

③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

・体系的なカリキュラムで教育を行っている。

④キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

・専門課程の学生は外国人留学生であり、それを前提にして教育内容の難易度を考えるか、引き続き検討が必要である。

⑤関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか

・カリキュラムの検討に於いて、企業との連携は行われている。カリキュラム編成を検討し情報交換量を増やし有効に機能させる必要がある。

⑥関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか

・実務科目（パソコン、電卓、簿記）については、実践的に教育を行っている。一方で産学連携がないことか

らインターンシップについては未検討である為、カリキュラム編成の中で検討する必要がある。

⑦授業評価の実施・評価体制はあるか

・授業評価に関する定めはないが、教員間での情報交換はある。

⑧実施する教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか

・外部関係者、学校関係者評価委員を設置し教育現場で作成される自己評価に基づき学校関係者評価を有効に実施する事が必要である。

⑨成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

・試験結果、出席率、平常点等の基準を明確に定め各学期ごとに実施している。

⑩資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

・資格取得は、教科と連動している為、体系的な位置付けとなっている。

⑪人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

・専修学校の教員資格条件を満たした教員を確保し教育を実施しているが、学生数の増加に伴い、教員不足となっており、増員する必要がある。

⑫関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか

・教員採用に於いて、業界との連携は実施していない。ハローワークや教職員関係者、卒業生を活用した求人を行っている。

⑬関連分野における先端的知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか

・教職員評価の仕組み及び授業評価の仕組みを設け、教員の資質向上のための取組が必要である。

⑭職員の能力開発のための研修等が行われているか

・資質向上のための学校の仕組みとして研修受講の定例化、自己啓発への支援を検討する必要がある。

(4) 教育成果

評価項目	評価
①就職率の向上が図られているか	3
②資格取得率の向上が図られているか	4
③退学率の低減が図られているか	4
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3

①就職率の向上が図られているか

・卒業時、就職先未定の学生がいるが、ハローワーク、個別指導等の支援が不可欠となり、本校主催の各企業の説明会等は十分な現状にある。

・また、就職時に有利な特定技能試験取得の為の講座を開講している。

②資格取得率の向上が図られているか

・検定試験を目標とする授業を行っている。欠席を最小限に留める為、日々ライン連絡及び自宅訪問による出席率向上に力を入れている。

③退学率の低減が図られているか

・出席促進、授業料納付の促進、生活支援、オリエンテーション等の活動を実施している。

④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

・在校生については、日常のコミュニケーションを通じ把握できている。

・卒業生については完全に把握出来ておらず、情報収集の為の検討が必要である。

(5) 学生支援

評価項目	評価
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
②学生相談に関する体制は整備されているか	3
③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	3
⑦保護者と適切に連携しているか	2
⑧卒業生への支援体制はあるか	2
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①進路・就職に関する支援体制は整備されているか

・学校組織として学生支援室を設置し、進路、就職指導や支援を実施している。

②学生相談に関する体制は整備されているか

・学校組織として学生支援室を設置し、学生からの相談に対応している。

③学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

・外国人留学生を対象とする分割納入を実施している。

④学生の健康管理を担う組織体制はあるか

・保健室はあるが、学校医等の学生の健康管理を担う組織はない。年1回の健康診断を実施し、学生支援室に於いて生活指導、薬の常備、外来通院への付添等を実施している。

⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか

・学校として課外活動を設けておらず、支援体制はない。アルバイトをしている学生が多く、課外活動の支援の必要性はない。

⑥学生の生活環境への支援は行われているか

・アルバイト等の紹介を実施している。

・在籍している留学生と教職員とのコミュニケーションはある程度、図られているが完全でないため通訳できる人材の採用をした。

⑦保護者と適切に連携しているか

・専門課程学生については、未成年の学生がいない為、保護者との連携をとっていない。留学生であるため、母国への連絡時は、通訳できる人材の協力を経て母国への連絡を取っている。

⑧卒業生への支援体制はあるか

・学校としての支援体制はなく、個別に教員が相談に応じている。

⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

・現在の専門課程は外国人留学生の教育になっており、社会人向けに講座設定はない。

・時代のニーズに合わせた社会人常識マナー検定試験（Japan Basic）を導入した。

⑩高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

・学生が外国人留学生であり、本校入学前の教育機関は、ほぼ日本語学校である。日本語学校との連携による。

(6) 教育環境

評価項目	評価
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
②学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	3
③防災に対する体制は整備されているか	4

①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

・平成30年、川口市本町4-8-3から川口市飯塚1-9-18に新校舎建設、移転し教室、照明、空調、備品等について十分に整備されている。

②学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか

・商業、ビジネス関連の実習施設はない。またインターンシップのプログラムに関しても導入検討を行っていない。

③防災に対する体制は整備されているか

・消防設備等に関して全く問題はなく、整備されている。年2回の防火点検でも問題はない。

(7) 学生の募集と受入れ

評価項目	評価
①学生募集活動は、適正に行われているか	4
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか	4
④学納金は妥当なものとなっているか	4

①学生募集活動は、適正に行われているか

・8月に学校説明会を10回、午前・午後の2回、計20回の説明会を実施し310名が参加した。
・募集要項、説明内容、試験の実施等、適正に行っている。

②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

・科目別年間授業時数及び取得可能な検定試験の説明を実施している。

③入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか

・入学選考は出席率、成績、筆記試験等適正かつ公平に行われている。

④学納金は妥当なものとなっているか

・同分類課程を持つ他校との比較に於いて、妥当な金額である。

(8) 財務

評価項目	評価
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
③財務について会計監査が適正に行われているか	4
④財務情報公開の体制整備はできているか	3

①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

・収益の基盤が専門課程の1学科だけであるが、中長期的には財政基盤が安定している。

②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

・年度末に、次年度予算を策定し、評議委員会を経て、理事会にて決定している。

③財務について会計監査が適正に行われているか

- ・選任された監事により、毎年5月に監査が行われている。

④財務情報公開の体制整備はできているか

- ・学校での公開をしている。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
③学校評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
④学校評価結果を公開しているか	3

①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

- ・法令遵守に向け継続的に改善を行っている。
- ・施設環境検査は年2回の定期点検を実施している。

②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

- ・教室以外の施錠、又はキャビネットの施錠等の対策を講じている。

③学校評価の実施と問題点の改善に努めているか

- ・毎年学校評価を行い、問題解決に努めている。

④学校評価結果を公開しているか

- ・学校での公開をしている。
- ・令和2年度よりホームページへ掲載する。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
②生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2

①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

- ・公開講座や、公開試験、教育訓練など運営する団体への教室貸与を行っている。
- ・地域の小学生、中学生、成人を含む書道教室を運営している。

②生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか

- ・現状、ボランティア活動を奨励、支援はしていない。

(11) 国際交流

評価項目	評価
①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
②受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
③学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
④学内で適切な体制が整備されているか	3

①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

- ・留学生の受入れに関し、日本語学校への次年度の募集等の呼びかけは充実している。
- ・毎年数回、国際交流の一環としてJaLSA主催のイベント、会議等に参加している。

②受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか

- ・留学生の受入れは日本語学校を1年半以上の在籍の学生及び専門学校の専門課程の文化教養以外の専門士の学生の受入れをしている。
- ・東京入国管理局へ在籍の定期報告を行っている。
- ・在留資格更新の為、在留審査関係申請等の取次を行っている。

③学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

- ・留学生卒業後、国内就職先への就職指導は行っているが、評価される取組は行っていない。

④学内で適切な体制が整備されているか

- ・留学生の日本語能力不足という問題点克服の為、各教員が工夫し授業を行っている。
- ・出席率の向上の為、登校していない学生のライン連絡を毎日行っている。長期欠席者には、自宅訪問並びに母国の親族への国際電話で連絡をし、学生の改善がみられない場合は除籍処分とし、東京入国管理局へ報告をしている。